



Soroptimist

INTERNATIONAL OF YAMANASHI

クラブ会報 No.26

2001年7月～2002年6月

国際ソロプチミスト山梨



会 長
三 井 仁 代

会長職を終えて

2000年7月より会長職の大役をおおせ付かり、早2年となりました。今期東リジョンテーマの「思いやりと、支え合い」の言葉に背中を押されながら、なんとか任期を終える事が出来ました。これも歴代会長、理事会、委員長そして皆様のお力添えと深く感謝申し上げます。昨年25周年記念を迎え、3人の会員が増え又、今年4人の若き会員の入会で、ますます活気付き、只今40人となりました。力強い限りでございます。

昨年はバイオレット、リチャードソン賞1位に輝き、又今年は中国の沙漠へ植樹をする緑の協力隊・やまなし甲府隊が（代表 武藤正孝さん）日本財団の環境貢献賞で1位に入賞、別府にて受賞されました。私達山梨クラブも賞状とワッペンを頂きました。又クラブでもソロプチミスト財団のローレルソサイティーに大勢の方が協力して頂ける事になりました。

又Sクラブの湯田高等学校も介護認定校として介護の新しい教室、浴室等機械もそろいいよいよ実習が始まりました。毎年夏休みを利用して武蔵野クラブのSクラブ藤村学園の生徒さん達の人形劇団が山梨のボランティアセンターへ廻って参ります。山梨クラブのSクラブ湯田高校の生徒さんも大勢お手伝いに来ます。地域の子供達も年々増え、大変充実して参りました。その後茶話会でSクラブ同志の意見交換等が有り青少年育成には有意義なひと時でございました。

又長年続けて居ます、ライトハウスのお手伝い、「臓器移植推進財団」の街頭キャンペーン、ソロプチミストの森の清掃及び命の電話等、委員長を中心として真剣に奉仕活動に取り組んでいる様子は26年間の重みをひしひしと感じ、此の様な皆様に支えられながら会長職を終えられました事を大変うれしく、誇りに存じます。クラブとしての自信も付きました。

山梨県では昨年の全国植樹祭に続き、2011年の恩賜林御下賜100周年に向け100万本を目指して県下一体となり植樹に燃えております。私達も植樹に対して奉仕活動と、継続寄付をする事になりました。又毎年の身障者ふれあい芸能まつりに続き、今年は山梨県が全国ボランティア・フェスティバルの責任当番でございます。此れも奉仕活動と寄付が約束されました。又来年はC地区研修会を山梨でと言うお話が持ち上がり今からその準備及び心構えで、せわしい期末を向えております。終りにりましたが東リジョンの役員、C地区役員の皆様方に御指導頂きました事、心より感謝申し上げます。これからは会員相互の和を大切にしながら、各委員会が少しづつでも奉仕活動を前進させて行く事により、女性のパワーが実るので無いか。私達が此の様に奉仕活動の出来ますのもご家族皆様のご理解と御協力の賜物と心より御礼を申し上げます。

「タイ婦女子職業訓練所の視察を終えて」

風間 雅子



昨年、8月30日、私達は会員8名、会長の御主人様（医師）、このプロジェクトのパイプ役をして頂いている田平稔先生と共に、2回目のタイ東北部の視察へ向かいました。

5年前、初めてS I山梨の一員としてタイを訪問することに決まったとき、私にはバンコクから更に空路で一時間余りという距離がかなり気になってしまいました。ラオス国境沿いの「ノンカイ県」など旅行社に尋ねても「かなり奥地」という印象を強く持つだけでした。しかしその心配は無用でした。そこには尼僧会のシスタープラニーの懐かしい顔があったからです。共に再会を喜び合い、私達は2台のワゴン車に乗りノンカイ県に向け出発。途中5年前の思い出話、今回初めて参加した会員の会話に花が咲きました。到着したメコン河畔のホテルやその周辺は、経済不況のせいか、すっかりさびれていました。都市での失業者が村に戻り、ぶらぶらしている村民が多く見られました。レジナセンターでは、シスターメアリーが高齢にもかかわらず大らかさがにじみ出ているエネルギーでお元気なお姿に、私達は「お約束通りやって参りました」と申し上げ、それぞれと言葉を交わしました。シスターメアリーをはじめ若いシスターや村人たちによる、美味しいタイ料理のもてなしに一同感激しました。レストランの料理よりも深く愛情溢れる手作りの料理に心温まる村人の想いを感じました。

S I山梨では5年前から、毎年クラブの歳入事業の一つであるバザーで、タイで製作した品を販売するようになりました。少しの品ではありますが、そういう積み重ねが婦女子職業訓練所の販路の支援につながると考えたからです。今回、私達は日本からTシャツをサンプル用として持参しました。サイズ、デザイン、素材などの参考にしてもらうよう話し合いがもてたことは、相互にとって意義あることでした。また同時に20周年記念事業の一つとして寄贈した機器類が村人の手によって今でも活用されている様子も見ることが出来ました。若いシスターや村の人々が献身的に仕事をなさっている様子に大変心打たれました。その時、私はソロプチミストの活動を「継続」させることの重要性を一層深く抱きました。

更に今回、私達はバザーの収益による寄附が婦女子職業訓練の屋根の修理代、エイズ患者の休憩所施設の一部等に実際に役立っているのを確認出来た有意義な訪問でした。これからも女性から女性への絆を大事にする今後の支援のありかたをも考えさせられた貴重な旅でもありました。次回は更に多くの会員が参加できるようにと願ってやみません。



環境貢献賞に入賞

財団委員会

平成13年日本財団年次大会が別府ビーコンプラザ・コンベンションホールにて開催され「緑の協力隊やまなし甲府隊」が入賞。代表者武藤正孝様が湯浅理事長より賞状をお受けになり出席したクラブ会員感動致しました。武藤様も大変お忙しいところを別府迄出席していただき、会場での感激は一人だったと申していらっしゃる。ご推薦いただいたボランティア局長岡様に心より御礼を申し上げ、今後ご指導よろしくお願い申し上げます。又やまなし甲府隊員のますますの御活躍をお祈り申し上げます。

環境貢献賞を受賞して

「緑の協力隊やまなし甲府隊」

代表 武藤 正孝

地球は、太陽と土と水があれば生物は生きる事が出来るが、二十世紀後半は全世界に於て、科学技術の発展に伴い地下資源を無制限に使用し、科学物質等の焼却から発する地球の温暖化、二酸化炭素CO₂ダイオキシンが環境汚染を起し砂漠化が進み現在地球の陸地の三分の一は砂漠、それらを全て足すとアフリカ大陸と同じ面積だと申します。又、砂漠化すると気候が変わって雨が降らない、数カ所の砂漠を見てきた私は、果てしない恐怖を感じ世界は誰が守るのか、原因は他にも有るが、山梨県出身で中国内蒙古の砂漠で十四年来植林に取り組む、遠山正瑛先生からダイオキシンは森林が吸収する事を学び、98才の老体は「生きる目標のない人生は闇である。生きる為には目標を持つこと、それが人生である。やればできる、やらなければならない。」と砂漠での夜間講義で学生たちに真剣に話しております。確かに、それは体験に依って感じとる、やれば実感があります。学生達は夏休みが始まる7月26日から一週間、果てしなく広い黄沙の砂漠は、地表の温度は50度以上の暑さの中での植樹ですが10数年来懸命に植えたポプラの木は緑の大地に変わり、草も生え、鳥もさえずり、学生たちは正に地球の生き返りを学びます。この体験はすばらしい青少年教育であると思います。二次隊から四次隊まで参加し始めての学生たちに指導しながら頑張った鈴木一菜さんも貴会より賞を賜り、後輩の育成に努力しております。その上やまなし甲府隊に対し環境貢献賞を贈呈下され、別府ビーコンプラザ・コンベンションの大ホールでの大会式典にお招きを頂き、全国都道府県の代表の方々、満席のなか盛大に且つ厳粛に開催され、湯浅叡子理事長様より世界平和のため、世界の福祉のため、病める人、飢える人、災害で救いの手を待ち望んでいる人、等々の救済にソロプチミスト財団を挙げて実行なされる活動を伺い知ることが出来て感激致しました。

やまなし甲府隊に対し社会貢献賞と多額の副賞を賜り参加全隊員の砂漠緑化のために役立たせていただきます。

国際ソロプチミスト山梨に衷心より感謝と御礼を申し上げます。ますますのご発展を祈りつつ。



クラブ賞をいただいて

あさひ福祉作業所 島 武代

このたび、クラブ賞をいただきまして、身に余ることと、深く感謝いたしております。

私共、あさひ福祉作業所は、昭和52年に設立し、今年で25年になります。その間、ソロプチミストの皆様には、たびたびご援助をいただきまして、作業所の運営に大変助かりました。

作業所は2名より出発し、現在13名の彼等と私共4名の指導員で運営しております。内容は養鶏、養豚、椎茸栽培、パン・ケーキの加工、近隣の工場からの作業等に取り組んでおります。25年間のうちには、福祉情勢もはげしく変化し、毎日必死に動いている私共には、ついて行けないことが多々ありますが、無器用な私共には、最初の理念を放棄することができず、今後も悪戦苦闘の日々となることでしょう…。

今回の受賞を機に、明日から、又、初心にかえり作業所の仲間と共に、よりよき福祉を求めて頑張る所存です。

このたびは誠にありがとうございました。



環境委員会

4月29日、みどりの日、澄みわたった青空に、富士の雄姿がくっきりと見える、富士吉田富士文化センターで県民緑化まつり、「みどりの集い」が「たくそうよ、小さな苗に、大きな未来」のスローガンの下、午前10時より、厳粛の内に、取り行われました。式次第にのっとり、主催者側の知事を始め、県会議長、富士吉田市長の挨拶の後、緑の少年隊により、「森林づくり宣言」が高らかに行われました。引続き、緑の募金の感謝状伝達、緑化コンクール入賞者の紹介があり、会は閉会となりました。引続き、植樹会場である、上吉田地区内の県有林に、大勢の方達が、バスに分乗し向かいました。整地された広々とした所に、みんなの手で、栗の木を植樹致しました。桃栗三年、と申しますが、この富士山麓のすばらしい土地に根付いて、たくさんの栗の実がたわわに実り、この木の一本一本が地球の温暖化の、少しでも歯止めになればと思い乍ら清々しい気持で、帰途に着きました。



去る3月22・23日にわたり、第2回ユースフォーラムが国立オリンピック記念青少年総合センターに於いて開催されました。山梨からは5名の生徒が参加しました。(S I 山梨より英和高校の中山夏希さんが参加) 折からの花吹雪舞う会場には、国際色豊かにA、B、C、地区より75名の生徒が集まりました。

はじめに上智大学のマイケル・ミルワート教授の基調講演が行なわれ、ひき続き生徒達のディスカッションに移りました。「長屋から学びたい事」「変化と進歩」「最近の人間関係」等生徒達の活発な意見が出され、熱気のこもった有意義な時を過ごしました。午後からは生憎雨でしたが生徒達は楽しそうにディズニーランドに出かけて行きました。

23日の分科会はテーマの「21世紀の子供、いのち、くらしを考える」に従って各々3ヶ所に分かれてディスカッションを行ないました。昨日のフレンドシップパーティで親交を深めた生徒達は活発にのびやかに発言しておりました。最後に高島肇久先生から生徒達に称賛の御言葉が贈られました。「一人、ひとりの異なる意見をいかにまとめ、他の人に理解してもらうかという難かしい伝達方法をあなた方は考え、実践しました。分科会の短い時間内で、これだけのメッセージを伝える事が可能なのです。これからもメッセージの発信に努力して下さい。」と申され、その後各賞の授与がありました。

生徒達は「フォーラムに参加したお陰で初対面の人達とこんなに掘り下げた対話ができ、この良き経験は一生の思い出になります。」との言葉を嬉しく聞きました。また二日間を通して、リジョン役員の方々の細やかな御配慮が窺え、その素晴らしい企画力に感銘しつつ帰途につきました。



いま 問われる女性の生き方

人権／女性の地位委員会

平成13年11月例会に、プログラム6委員会合同計画に依り、山梨県立女性センター 吉原五十鈴子館長に卓話をして頂きました。「いま 問われる女性の生き方」のテーマのもとに、立派なレジュメを会員一同に配布して下さり、それに基づいて、分かり易く、現状の女性の、国、都道府県における参画状況からはじまり、政治、行政、司法、その他の分野における状況を細かに知らせて下さいました。男女共同参画社会基本法の施策の仕組みによる、基本理念、1. 男女の人権の尊重 2. 社会に於ける制度等についての配慮 3. 政策等の立案及び決定への共同参画 4. 家庭生活における活動と、他の活動の両立 5. 国際的協調 を元にして、国、地方公共団体、国民の責務、施策の基本となる事項、男女共同参画社会の形成、と順を追って、今後の展開、女性行動計画策定状況と、ともすればむずかしく気の張る国、県の方針を身近に分かり易く話して頂き、会員一同、認識を深めました。又、その他「性別にとらわれない子育てを」「O才からのジェンダー教育」の推進、「DV防止法の流れ」等々時間が足りない位に目から鱗の落ちる、きっちりとした卓話をお聞きし、貴い40分をすごしました。今後も時間の許す限り、このような勉強会を行いたいと思います。

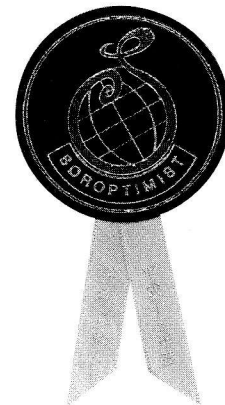


ライトハウス奉仕

山梨ライトハウスは、1983年3月視覚障害者向け電話による新聞リーディングサービスを開始し、現在にいたって居ります。第2金曜日午前10時より12時迄、会員2人が月1回作業に伺います。

作業の内容は5年前からは、封筒宛名書き、CD図書のレッテルはり、カセットテープ4本入りケースの住所書きなどの作業で、その他催し物のある前は時間をオーバーしての手伝も行っております。ライトハウスの活動を会員が理解し、物心両面で継続奉仕をしております。





●新入会員の紹介



三科 典子

この度、伝統ある国際ソロプチミスト山梨に入会させて頂き誠にありがとうございました。

今まで、ボランティアの経験もございませんので、お役に立てますかどうか不安と緊張で一杯でございます。会の活動に参加させて頂いた折、先輩の皆様方の社会奉仕に対する前向きな姿勢と、暖かなお心配りに触れ、とても感動し多くの事を学びました。微力ではございますが、皆様の御指導を仰ぎながら、一生懸命努力して参りたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。



小澤 房子

国際ソロプチミスト山梨に、入会させて頂きまして、ありがとうございます。2002年、サッカーの日韓共催、ワールドカップの開催された記念すべき年に、新入会員になり、思い出に残ることを心より喜こんでおります。ソロプチミスト山梨の皆様は、「和の心を大切に」、長年に渡っての奉仕の精神を基に、幅広い分野で、実践活動を進めている諸先輩方に、私も少しずつ、近づいていけますように、微力ですが頑張ってみりたいと思います。皆様よろしくお願い致します。



田辺 文子

この度は、伝統を連綿と受け継ぐ国際ソロプチミスト山梨へのご入会を受け入れていただき、誠にありがとうございました。

何の予備知識もないままの入会でしたが、その活動内容は国内外の社会ボランティアの枠にとどまらず多岐にわたる事を教えていただき感銘をうけました。そんな中で、どの様なお役に立つ事が出来るのかを何時も心に刻みながら、会員としての責任を務めていきたいと思っております。

皆様様との出会いを感謝しつつ、皆様様からの薫陶を反すうし、そして有形無形の影響を私の人生の力の源といたしたく思っております。



谷沢佐知子

この度、伝統ある国際ソロプチミスト山梨に入会させて頂き誠にありがとうございました。

入会時、先輩方の暖かく細やかなご配慮に支えられ迎えて頂いた事、重ねて感謝申し上げます。又、地球的視野で社会奉仕をする女性にとって最良の組織である事を知り、又活動なさっている事に深く感動を覚えております。各界でご活躍なさっている皆様との出会いを大切に、又私の人生に大きな成長をもたらして頂ける場である事を願いながら、微力ではありますがソロプチミストの名に恥じぬよう、社会のお役に立てる会員になれるよう努めていく所存でございます。どうぞ宜しく御指導をお願い申し上げます。

●思い出のスナップ



▲国際ソロプチミスト山梨26周年記念、新会員入会式

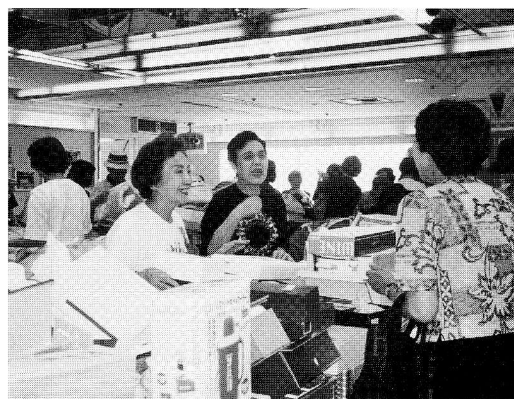


◀環境貢献賞受賞者と
会場にて

▶ソロプチミストの森清掃



▼第26回チャリティバザー





◆チャリティディナー



▲湯田高校Sクラブ入会式



▲国立西病院オムツたたみ奉仕



▲ふれ合い芸能祭り手伝い

2001年7月～2002年6月

役員・委員会構成

日本東リジョンΣ/Sスポンサーシップ委員長 風 間 雅 子				日本財団評議員 橘 田 禮 子			
会 長	三 井 仁 代	トレジャー	雨 宮 和 子	理 事	飯 田 節 子		
副 会 長	細 田 ふたば	//	中 丸 輝 江	//	野 口 美代子		
セクレタリー	島 津 典 子	理 事	井 上 昌 子				
セクレタリー	桧 垣 節 子	//	高 村 美智子				

プログラム委員会

委 員 会 名	委 員 長	委 員					
経済的社会的開発	野 口 美 代 子	中村けさ代	桐原ふじ子	大久保智子	若月 絹子		
教 育	井 上 昌 子	坂本美知子	風間 雅子	小林 隆子	網倉千恵子		
環 境	砂 田 治 子	天野 とき	飯田 節子	望月 稲子	小宮山美知子		
保 健	成 澤 洋 子	小倉 玲子	秋山 桂子	手塚 淳子			
人権/女性の地位向上	細 田 ふ た ば	橘田 禮子	雨宮 節子	新海 勝子	島津 典子		
国際親善と理解活動	望 月 淑 子	入倉美奈子	飯島 朱美	桧垣 節子	中込まさる		
Σ/Sスポンサーシップ	高 村 美 智 子	上原 桂子	矢崎 京子	雨宮 和子	中丸 輝江		

テクニカル委員会

委 員 会 名	委 員 長	委 員					
財 務	小 倉 玲 子	成澤 洋子	網倉千恵子	雨宮 和子			
規 約 決 議	雨 宮 節 子	飯田 節子	大久保智子	桐原ふじ子			
SOLT	飯 島 朱 美	風間 雅子	新海 勝子	秋山 桂子			
歳 入	坂 本 美 知 子	入倉美奈子	若月 絹子	細田ふたば	島津 典子		
メンバーシップ	矢 崎 京 子	天野 とき	高村美智子	井上 昌子			
財 団	橘 田 禮 子	中村けさ代	望月 淑子	小林 隆子			
広 報	上 原 桂 子	野口美代子	砂田 治子	望月 稲子	中込まさる		
出 席	小宮山美知子	手塚 淳子	桧垣 節子	中丸 輝江			

ソロプチミスト誓約

私達はソロプチミストとして、ソロプチミストに
忠誠を誓い

真摯なる友情

偉業達成の喜び

奉仕の尊さ

誠実な職業

国土愛

等を強調するその理想に忠実に従います。

私達は最善をつくしてこれらの理想を促進し、支持
し擁護し、家庭、社会、実業界に於て、より大きな
友情を築き、国家のため、神のために努力致します。

●2002年6月 編 集 広報委員会

国際ソロプチミスト山梨事務局

SOROPTIMIST INTERNATIONAL OF YAMANASHI

甲府市中央3丁目11-5 上原桂子方

TEL 055-233-1190

FAX 055-232-8428
